

平成24年度
環境保全レポート
〈CES報告書〉

平成25年4月15日作成
有限会社 美鈴環境サービス

目次

I. 組織の概要	1
II. 環境方針	2
III. 環境保全の対象範囲と期間、体制	3
IV. 環境保全の取組項目と目標	4
V. 平成24年度環境保全活動の実績	4
VI. 平成24年度の主要な活動内容	6
VII. 平成24年度の活動と評価	8
VIII. 平成25年度の目標と新たな取組み内容	8
IX. 代表者による総合評価と見直し	9
X. CSR体質の自己評価チェック	10

I. 組織の概要

会社名	有限会社 美鈴環境サービス	
代表者	代表取締役 鈴木健司	
所在地	〒520-0113 滋賀県大津市坂本7丁目32-30 ロータスビル2C	
	TEL:077-578-6904	FAX:077-578-6903
	フリーダイヤル:0120-976-430	
	E-Mail :	misuzu-k-s@happy.odn.ne.jp
	HP :	http://misuzu-eco.com
設立	1998年 9月 3日	
従業員数	11名 (平成25年 4月現在)	
主な事業内容	1.一般家庭・店舗・車両などの衛生管理 ・有害生物防除、持続性消臭抗菌 リアルタイムモニタリング、エアコン洗浄消臭抗菌 2.コンサルタント業務 ・環境衛生・環境経営・経営マネジメント 3.大塚グループのアース環境サービスの施工代行業務 ・食品関連工場、医薬品・化粧品・化学品などの製造工場、 病院などの医療施設やオフィスビルの有害生物防除 4.殺虫剤・持続性抗菌消臭剤・資材などの販売	

【 経 営 理 念 】

お客様のために。環境のために、行動なくして新しい風は吹くことなし。
これらが詰まった丸坊主精神を家族ぐるみ(全社員)で一丸となって心に刻み、社会に伝えていく。

- ま 真心いっぱいのお届けします。
- る ルールを守り安全・安心に行います。
- ぼ 防除は責任施工でやり遂げます。
- う 美しさ・綺麗さ・可愛さを大切にします。
- ず ずっとお客様への暮らしをサポートします。

Ⅱ.環境理念

【 環 境 理 念 】

環境はEnvironmentを用い“組織内の活動は地球規模のシステムにまで及ぶ”と考え
家族ぐるみ(全社員)で一丸となり次世代市民のために持続可能な取り組みを行う。

環境の定義:人間を取り巻く自然環境及びその変化に順応する人環境

環 境 方 針

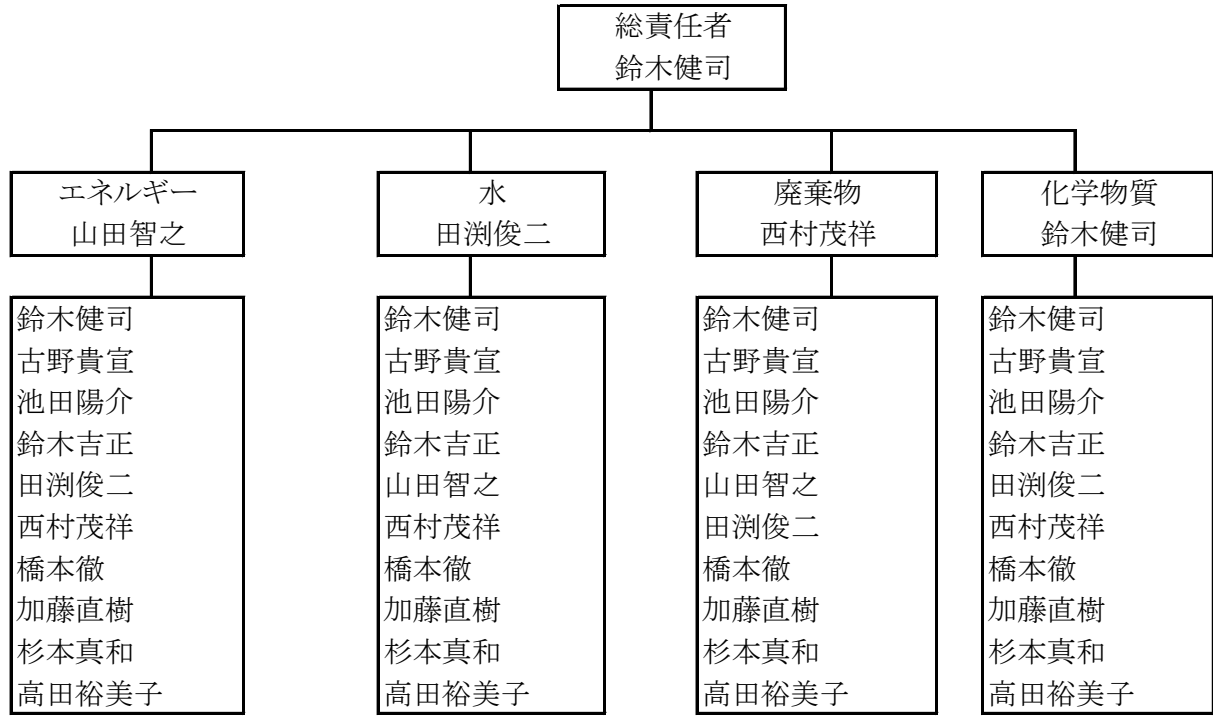
1. 美しい琵琶湖と山川草木を守るため、廃棄物の削減を最も取り組むべき分野とし、改善と向上のために家族ぐるみ(全社員)で環境保全に貢献します。
2. 環境保全に関する活動は「法規制+自主的取り組み」と考え、組織内に対しこれを周知・徹底し、社会に対し開示と説明責任を果たします。
3. 組織内顧客に於いて、環境へ有益な影響の連鎖となるようにグリーン購入・納入・調達・供給に努め廃棄物削減をはじめCO2削減と水資源の使用量管理に取り組みます。
4. 資源のリデュース・リユース・リサイクルを実践し、省資源活動を推進します。
5. 事業活動に使用される化学物質に対し「化学物質適正管理」を常に把握し、MSDSの活用と対策、PRTR対象化学物質の使用量、排出量のチェックを行います。
6. 美鈴環境サービスの事業活動は、以上の方針を全社員及び当社が関わる全てのお客様に周知し、一人一人が自身の役割を把握し、自主的な取り組みを目指します。

制定日 平成23年3月20日
有限会社 美鈴環境サービス
代表取締役 鈴木 健司

Ⅲ. 環境保全の対象範囲と期間・体制

1. 環境保全の対象範囲

- (1) 事業所所在地、社有車
- (2) 全職場



2. 環境保全対象期間

平成24年4月1日～平成25年3月31日 1年間、引き続き25年4月～26年3月まで実施

3. 環境保全体制

当社はコンパクトエコシステム(CES)に基づき下記の環境保全体制を構築した。

- | | | |
|--------------------|-------|-------------|
| (1) 環境保全総責任者 (EGM) | … | 鈴木健司 (社長) |
| (2) 実行責任者 (PM) | 廃棄物 | … 西村茂祥 |
| | エネルギー | … 山田智之 |
| | 水 | … 田淵俊二 |
| | 化学物質 | … 鈴木健司 (社長) |
| (3) 保全担当者 (PP) … | | … 全社員 |

4. 環境保全対策会議

(1) 全社的な環境問題の対策を検討し、保全を推進。

(2) メンバー: 鈴木健司、古野貴宣、池田陽介、鈴木吉正、田淵俊二、山田智之
西村茂祥、橋本徹、加藤直樹、杉本真和、高田裕美子

IV.環境保全の取組項目と目標

1.環境保全の取組項目

- | | |
|--------------------------------|------|
| (1) 廃棄物の削減のための取組み | 2%削減 |
| (2) エネルギー使用量と二酸化炭素排出量削減のための取組み | 2%削減 |
| (3) 総排水量削減のための取組み | 1%削減 |
| (4) 化学物質使用量・排出量削減のための取組み | |
| (5) 紙資源使用量削減のための取組み | |
| (6) 地域社会における環境保全活動 | |
| (7) グリーン購入の促進 | |
| (8) 企業内の緑化推進 | |

V. 平成24年度環境保全活動の実績

1.廃棄物の削減のための取組み

【第1表】廃棄物の発生量、再使用量と処分量 <平成24年4月～25年3月>

種類		発生量 kg	再使用量kg	再資源化量kg	処分量kg	再資源化率 %
		(イ)	(ロ)	(ハ)	(イ-ロ-ハ)	ロ+ハ/イ×100
紙類	段ボール	579.6	87.6	492.0	0.0	100.0
	コピー用紙	49.5	21.3	28.2	0.0	100.0
	その他	417.0		417.0	0.0	100.0
	(中計)	(1,046.1)	108.9	(937.2)	(0.0)	100.0
	*古紙払下げ	1,046.1			1,046.1	
	(中計)	(1046.1)			(1046.1)	0.0
資源ごみ	プラスチック	62.5			62.5	
	スチール缶	50.5			50.5	
	(中計)	(113.0)			(113.0)	0.0
有害ごみ	蛍光灯	217.6			217.6	
	電池	53.2			53.2	
	(中計)	(270.8)			(270.8)	0.0
可燃ごみ	ボールペン	0.4			0.4	
	マジック	0.9			0.9	
	その他紙類	0.0			0.0	
	一般ごみ	4,655.0			4,655.0	
	中計	(4,656.3)			(4,656.3)	0.0
不燃ごみ	鉄くず	7.0			7.0	
	その他不燃ごみ	22.5			22.5	
	中計	(29.5)			(29.5)	0.0
(B)24年度合計		6,115.7	108.9	937.2	5,069.6	17.1
(A)23年度合計		8,431.0	95.0	669.7	7,663.3	9.1
(B)-(A)増減量		-2,315.3	13.9	267.5	-2,593.7	-12.2

2. エネルギー使用量と二酸化炭素排出量削減のための取組み

【第2表】 エネルギー使用量と二酸化炭素排出量＜平成24年4～25年3月＞

		(A)22年度		(B)23年度		(C)24年度		(C-B)増減量	
		使用量	CO2排出量 (kg-CO2)	使用量	CO2排出量 (kg-CO2)	使用量	CO2排出量 (kg-CO2)	使用量	CO2排出量 (kg-CO2)
購入電力kW		4522	1329	3085	907	2551	750	-534	-157
自動車	ガソリンkl	7528	17759	7174	16923	6799	15774	-375	-1149
	軽油 kl	2984	7039	2307	6100	2402	6197	95	97
	計		26127		23930		22721		-1209
合計			26127		23930		22721		-1209
従業員数		9.5		10		11		1	
1人当の量			2750		2393		2323		-357
営業時間数H		19418h		20551h		22124h		1133	
1時間当の量			1.35		1.16		1.03		-0.13

3. 総排水量削減のための取組み

【第3表】 水使用量 ＜平成24年4月～25年3月＞

種類		(A)22年度	(B)23年度	(C)24年度	(C-B)増減量
		m ³	m ³	m ³	
上水道		94	77	76	-1
下水道		94	77	76	-1
地下水		—	—	—	—
合計		188	154	152	-2

*24年度 雨水使用量 54340

4. 化学物質使用量・排出量削減のための取組み

【第4表】 化学物質使用量・排出量 ＜平成24年4月～25年3月＞

物質(商品)名		(A)23年度		(B)24年度		(B-A)増減量
		使用量	排出量	使用量	排出量	
1	*フェニトロチオン5% (スミチオンNP乳剤NS)	21.800	21.800	25.400	25.400	3.60
2	*フェニトロチオン5% (スミチオンNP-FL)	0.45kg	0.45kg	0.1kg	0.1kg	-0.35kg
3	ペルメトリン5% (金鳥ULV乳剤E)	0.090	0.090	0.080	0.080	-0.01kg

5. 紙資源使用量削減のための取組み

【第5表】 紙資源使用量 ＜平成24年4月～25年3月＞

分類		(A)23年度		(B)24年度		(B)-(A)増減量	
		使用量	金額(円)	使用量	金額(円)	使用量	金額(円)
紙資源	コピー用紙	76.6kg	14,129	80.0kg	15,200	3.4kg	1,071
	内再生紙使用量	57.2kg		77.9kg		20.7kg	
	再生紙導入率	74.7%		97.4%		22.7%	
総使用量合計		76.6kg	14,129	80.0kg	15,200	3.4kg	1,071

6.地域社会における環境保全活動

(1)会社周辺の道路と公園の清掃活動毎月実施	・・・	ごみ回収量 <平成24年4月～25年3月>	14.3kg
(2)社長のゴミ拾い活動	・・・	ごみ回収量 <25年2月より再スタート>	3.0kg
(3)プルトップ、ボトルキャップ回収	・・・	プルトップ回収量 <平成24年4月～25年3月>	0.55kg
	・・・	ボトルキャップ回収量 <平成24年4月～25年3月>	0.97kg

7.グリーン購入の促進

- (1)トイレトーパー(ただいまロール:牛乳パック10%・古紙90%)
- (2)BOXティッシュ(おかえりティッシュ:牛乳パック30%・古紙70%)
- (3)コピー用紙(kikitoペーパー:琵琶湖周辺の森林整備と資源の循環利用を目的)
- (4)作業で排出した二酸化炭素量と引き換えに滋賀のグリーン商品を提供

8.企業内の緑化推進

- (1)ベランダや畑での植物・野菜の栽培
- (2)ゴーヤによるグリーンカーテン

VI. 平成24年度の主要な活動内容

1.廃棄物排出量削減のための取組み

・・・ゼロエミッションを目指して分別の細分化

- (1) 分別の徹底を図る。
- (2) 弁当・マイ箸・マイボトルの持参。
- (3) 3Rを心掛ける。

2.エネルギー使用量と二酸化炭素排出量削減のための取組み

- (1) エコドライブを心掛ける。
- (2) 定期的な空気圧のチェック・オイルエレメントの交換を行う。
- (3) アイドリングストップ時間を毎日記録し、意識強化を図る。
- (4) 総出動台数・軽油車の出動を控えるよう配車する。
- (5) 業務の際、分電化を活用する。
- (6) 無人スペースのこまめな消灯を行う。
- (7) ノーエアコンデーを夏場・冬場ともに10回実施する。
- (8) クールビズ・ウォームビズの実施。
- (9) エアコン温度設定を冷房28℃・暖房20℃に設定する。

3.総排水量削減のための取組み

- (1) 雨水タンク(250L)を設置し、植物への水やり、機材の洗浄、薬剤の希釈などに活用。
- (2) 雨水タンクからのもれ水対策とし、バケツに汲み置きする。
- (3) トイレタンクに石を入れ、水量調整。(女子トイレ)

4.化学物質使用量・排出量削減のための取組み

- (1) 有機リン系化学物質の使用を減らし、ノンケミカル剤、レスケミカル剤を導入することを検討する。
- (2) 必要量のみ希釈し、使い切る。

5.紙資源使用量削減のための取組み

- (1) 森林整備と資源の循環利用を目的とした「Kikitoペーパー」を使用。(グリーン購入)
- (2) 両面印刷・コピーの促進、裏紙利用の徹底。

6.地域社会における環境保全活動

- (1) 全社員総出で月に1度のゴミ拾い、また社長のゴミ拾いを再開。

7.グリーン購入の促進

- (1)トイレットペーパー(ただいまロール:牛乳パック10%・古紙90%)。
- (2)BOXティッシュ(おかえりティッシュ:牛乳パック30%・古紙70%)。
- (3)コピー用紙(kikitoペーパー:琵琶湖周辺の森林整備と資源の循環利用を目的)。
- (4)作業で排出した二酸化炭素量と引き換えに滋賀のグリーン商品を提供。

8.企業内の緑化推進

- (1)ベランダや畑での植物・野菜の栽培。
- (2)「ゴーヤ」によるグリーンカーテン。

9.法令遵守の取組み 環境関係法令と順守状況

NO	適用環境関連法令	順守状況
1	廃棄物処理法	ISO14001の取組みに加え、ゼロエミッションリサイクル・カーボンオフセット・BDF活動など環境経営に熱心に取り組まれる収集運搬業者様に委託し、ルールに基づいた分別排出を実施
2	化管法	PRTR制度に基づき薬剤選定を行い、各得意先については、MSDSとポジティブリストの提出で、施工部位と各薬品の排出量を施工完了報告書に添付
3	毒劇物取締法	定期的に滋賀県大津市の保健所と農政局の立入検査及び契約業者による定期点検が行われております。
4	グリーン購入法	滋賀グリーン購入ネットワーク会員に参入し、コピー用紙やトイレットペーパー、ティッシュなどの備品関連から取り組んでいます。また、幹事として呼びかけも行ってまいります。

VII.平成24年度の活動と評価

実施項目	単位	23年度実績	24年度目標	24年度実績	目標達成判定	目標達成率
廃棄物の削減 【2%削減】	kg	7663.3	7509.7	5069.6	○	148.1%
エネルギー使用量と 二酸化炭素排出量削減 【2%削減】	kg-CO ₂	23930	23451	22721	○	103.2%
電気使用量	kwh	3085	3023	2551	○	118.5%
ガソリン使用量	ℓ	7174	7031	6799	○	103.4%
軽油使用量	ℓ	2307	2261	2402	×	94.1%
総排水量削減 【1%削減】	m ³	77	76	76	○	100.0%

各取組み共に達成が出来た。その中でも評価した内容は下記のとおりである。

(1)廃棄物削減のための取組み

- ・プラスチックゴミに対しての3Rの徹底

(2)エネルギー使用量と二酸化炭素排出量削減のための取組み

- ・エアコンのメンテナンスや節電の徹底、就業時間の見直し
但し、軽油については業務の関係上、出勤が増えた。

(3)総排水量削減のための取組み

- ・雨水利用の成果

VIII.平成25年度の目標と新たな取組み内容

2013年3月19日ワークショップにて決議

(1) 廃棄物の削減のための取組み

- ・早見表とよく出るゴミについて容器の前に表示し、分別の更なる徹底を図る。
- ・プラスチックゴミの一部は砕くと燃えるゴミとなるので実行する。
- ・クリーンルームで使用した使い捨て作業服は、捨てずに工事の仕事や掃除用具として再利用する。

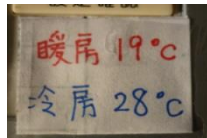
【1%削減】



(2) エネルギー使用量と二酸化炭素排出量削減のための取組み

- ・エコドライブの意識強化のため定期会議の項目に取り入れる。
- ・業務の際の分電化活用を徹底する。
- ・ノーエアコンデーを夏場・冬場各15回に増やす。
- ・エアコン温度設定を冷房28℃・暖房19℃に設定する。

【1%削減】



(3) 総排水量削減のための取組み

- ・雨水タンクからのもれ水対策とし、従来のくみバケツに加え新たに貯水タンクを設置する。
- ・トイレタンクに石を入れ、水量調整。(男子トイレ)

【1%削減】



(4) 緑化への取組み

- ・植栽の肥料(みのるちゃん:滋賀県で発生した自然樹木のチップ100%・鶏糞・尿素・発酵剤)。
- ・環境教育として、地域の幼稚園や保育園に「フウセンカズラ」の種を配布し「みどりのカーテン」を周辺施設に普及させる。
- ・「ミニメロン」によるグリーンカーテン。



IX.代表者による総合評価と見直し

まず、当初に実施したワークショップで決議した今後の対策と見直しは下記のとおりである。

- | | | |
|---|---------|--------------------------------------|
| 1 | 廃棄物削減 | … 分別と3Rの徹底 |
| 2 | 二酸化炭素削減 | … 車両管理の見直しとワットチェッカーに依る電力量の見える化 |
| 3 | 水使用削減 | … トイレタンクにペットボトルを入れ、流水量の削減
雨水の有効活用 |

1年間取組みを行い、当社ではEV車や太陽光パネルの導入は、業務上現状難しく、引き続き、足元から出来ることを1つずつ実行していくことにした。
必須3項目に於いて、全て目標値をクリア出来たことは従業員の意識強化の表れと評価する。

廃棄物の削減、
エネルギー使用量と二酸化炭素排出量の削減
総排水量の削減
今後継続していくが、CO2削減などの削減目標は厳しくなっている。
今後少しでも削減に努力していく

但し、各項目毎に来期に於いて不安な点も挙げられる。

- 廃棄物…業務拡大のためゴミの量の増加
- 二酸化炭素…購入電力量が上がるため、新たな取り組みが必要
- 水…取組む内容が限られてきた

以上のような不安点から、来期に向けては次のようなことに力を入れていきたい。

- 廃棄物…3Rの徹底強化
- 二酸化炭素…業務に於ける配車、ノーエアコンデーの強化、電気器具のメンテナンス
- 水…溢れ出る雨水の対策強化

但し、二酸化炭素排出量は、4月～6月のモニタリング結果に基づき決議内容で十分かどうか検討していきたい。又、紙類やダンボールは有価物として取組んできたが、価格に低下により中止する。

CESを導入して2年が経ち、ロコミによるビジネス拡大も得られた。来期は地域社会に於ける環境保全活動もレベルアップし、安全・安心な会社をアピールしていきたい。

そして、人財育成のために役立っているCESは素晴らしい。本業との両立で個々のレベル向上が顕著に表れてきている。昨年、不本意だった人財も少しずつではあるが、行動力がついてきたので見通しは明るい。

昨年挙げた私自身の課題はクリアできそう。さらなるビジネス拡大をするためにはどのように取り組んでいけば良いかが新たな課題といえる。

CESガイドラインのCSR取組みのチェックでは、ガバナンス・環境項目は全項目適合し、他の5項目については不十分な項目もあり総点ではBクラスとなったが、25年度はAクラスを目指して努力する。

X.CSR体質の自己評価チェック(ISO26000中核事項にもとづく)

CSR取組み自己評価チェック表 (2013年 4月15日)

①欄に○、②欄に準備中△、未実施×を記入

	①	②	具体的取組事項
I	○		・ 社長コミットメントを含むコンプライアンスを行っている
	○		・ ホームページ、レポートを通じ企業情報開示をしている
	○		・ ステークホルダーとのミーティング等をしている
II	○		・ 従業員採用や給与で性別・国籍などで差別をしていない
		×	・ 障害者・高齢者などを積極的に雇用している
III	○		・ 労働基準法を順守している
	○		・ 非正規従業員を正規化する制度がある
	○		・ ワーク・ライフバランスを推進している
		×	・ キャリアアップの機会をつくっている
IV	○		・ 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の防止につとめている
	○		・ 省エネ、省資源(廃棄物削減)、CO2削減を推進している
	○		・ 企業内の緑化推進をしている
	○		・ グリーン購入を実施している
	○		・ 環境経営マネジメントシステムを導入している
V	○		・ フェアトレード製品の購入をしている
	○		・ 汚職、不正取引の防止、談合・価格協定の防止をしている
		×	・ 従業員の発明などに対する正当な対価支給をしている
	○		・ 下請け業等への支払期日・方法を配慮している
VI		×	・ お客様窓口の設置をして、苦情処理のマニュアルをしている
	○		・ 商品安全基準の設定や取扱いマニュアルがある
		×	・ 商品トレイサビリティの実施、商品情報開示をしている
		×	・ 品質管理マネジメントシステムの導入をしている
		×	・ 個人情報保護マネジメントシステムの導入をしている
VII		×	・ 地域でボランティア活動を実施している
		△	・ 地域住民、小中学生を対象とした環境教育活動をしている
		×	・ 地域内の雇用創出を推進している
	○		・ 地域の振興援助や地域内企業(組織)との協力をしている

I) ステークホルダーとのミーティングとして、
業務取引先・仕入先とは年間15回程度、安全衛生・トラブル報告等の勉強会を主に
フィードアサイドを行っている。
グリーン購入ネットワーク・金融取引先とは、主に環境活動やネットワークづくりの情報交換を行っている。

III) 24年度より環境経営に力を入れており、主に法令順守プラス自主的取組みのベストミックスで行い
特に「人」を含めた職場環境の見直しを3年計画で取り組んでいる。

VIとVIIについては評価点が低く現状非常に難しく感じるが、
今後1つでも取組めるよう検討していきたい。